

版域広



第9を披露した秋田声楽研究会の定期公演（北秋田市文化会館）

「第9」北秋田に響け

歌う会が大合唱

秋田声楽研究会 定期公演で披露

秋田声楽研究会（三澤由孝子会長）の定期公演「響」第9として合唱の調べが16日、北秋田市文化会館で開かれた。市内初となるベートーベンの交響曲第9番をメインにしたコンサートで、この日に向けて練習を重ねてきた市内合唱団などをつくる「歌う会」のメンバーらが歌声を響かせた。

「北秋田で第9を歌おう」を合言葉に市内の合唱グループのメンバーが集まってスタート。研究会と親交のある福島県郡山市の合唱団「はもろ・かい」、公募で市内外のメンバーを加え、指揮者には市出身で東京室内歌劇場指揮会員の藤本淳也さんを迎えて練習を重ねてきた。

コンサートは音響構成で行われ、1部では秋田声楽研究

会合唱団カント・アムゼル、合唱団はもろ・かい、秋田声楽研究会連声合唱団がそれぞれ歌声を披露した。

2部の第9では1部に出演したルーフに加え、地元のことる・もりよし、女声合唱団ら、それいゆなど総勢約100人の大合唱団がステージに並んだ。国内外で声楽家として活躍する菅英三子さん、中島郁さん、水船桂太郎さん、福岡明也さんらとともに会員の第9を高らかに歌い上げた。観客たちは迫力ある歌声に聞き入っていた。